



児嶋よしひこ (志政会所属)

令和 5 年 3 月発行
発行／静岡市議会志政会
編集／志政会 広報部
〒420-8602
葵区追手町 5-1 本館 2 階
Tel: 054-653-3412

議会だより

2 月議会

令和 5 年 2 月議会が 2 月 8 日～3 月 17 日まで会期 38 日で開かれました。私は 3 月 2 日の個人質問で登壇し、1. 第 2 子保育料完全無償化について、2. 津波避難施設について、3. 災害時のトイレ対策について、4. 災害時の要配慮者への対応についてなどの質問を行いました。(以下は質問抜粋です)



1. 第 2 子保育料完全無償化について

今年 1 月に岸田首相から「異次元の少子化対策に挑戦する」との表明があり、本市では今年 4 月から政令指定都市初の第 2 子保育料完全無償化にする (*4 頁参照) と発表がありました。しかしながら、企業主導型保育園のような認可外保育施設は第 2 子無償化の対象外であると、今年 4 月から企業主導型保育園へ入園予定の保護者の方から情報がありました。

Q 認可外保育施設が対象外である理由は何ですか。また今後、認可外保育施設の第 2 子保育料無償化又は相当額の支援をする考えはありませんか。



A 認可外保育施設については、英語教育に力を入れたり、野外活動など独自の教育・保育を提供する施設や、企業の従業員の福利厚生としての施設など、その形態は様々であり、保育料も各施設が自由に決定できるため、認可外保育施設を一律に支援することは難しいと考えます。

今後については、国や他都市の動向に注視するとともに、認可外保育施設を利用する子育て世帯にどのような支援ができるのか研究していきます。

2. 津波避難施設について

今年 2 月 6 日にトルコ・シリアで大地震が発生しましたが、静岡市でもいつ大地震が発生するか分からず、東日本大震災のように津波による被害が懸念されます。

私が昨年 11 月に視察した伊勢市立みなと小学校では、1 階部分が流されても被害が最小限となる構造となっており、広い外階段からは地域住民が避難しやすくなっていました。また、夜間でも建物内に避難できるよう、3 階の建物入口には、扉の鍵が入っているキーボックスがあり、このキーボックスは震度 4 以上で自動的に開錠されるようになっていました。



伊勢市立みなと小学校外観



伊勢市立みなと小学校外階段

Q 津波避難ビルの指定要件は、どのようなことを考慮していますか。

また、新設される「清水さくら病院」の津波対策や避難者の受け入れについて、JCHOからはどのような説明を受けていますか。

A 津波避難ビルの指定要件としては、スムーズに避難できる場所の立地、24 時間誰もが避難可能、安全に利用できる耐震性・耐久性、避難者を受け入れるための一定のスペースが確保などとしています。

清水さくら病院の津波対策については、建設地で想定される津波の最大浸水深 2.66m を上回る 5.9m までの構造体の嵩上げ、津波浸水時に人的被害を防ぐため、入院患者の病床を 5 階以上とし、津波に備えて一時的に避難される方のためのスペースを設け、日中はもとより、夜間においても避難者を受け入れるよう計画していると聞いています。

3. 災害時のトイレ対策について

災害時に活用できるトイレトレーラーは、近隣では富士市、藤枝市、島田市が保有しており、富士市では過去に数回、他の自治体への派遣も実施しており、昨年の台風15号では清水区にも来てくれました。

水洗トイレのために衛生的で、男女別で多目的トイレもあり、汚物の処理もしやすく、太陽光パネルを備えているタイプもあります。平時はイベントの仮設トイレとして使え、災害派遣トイレネットワークに加盟すれば、相互に派遣し合うこともできます。



トイレトレーラーの例

Q 災害時に活用できるトイレトレーラーの導入について、どのように考えていますか。

A 大規模災害等において、多くの方が利用する場合には、非常に多くの台数が必要となるほか、設置するための広いスペースを確保する必要があります。本市では、持ち運びが容易で少ないスペースでも多くの方が利用できる携帯トイレのメリットを考慮し、耐用年数を迎えた仮設トイレを、順次、携帯トイレに切り替えています。

4. 災害時の要配慮者への対応について

台風では大雨による浸水や土砂崩れの恐れ、地震では家屋の倒壊や津波の恐れがある時に、自宅を離れて避難所へ避難する必要があります。指定の避難所へ避難するにも、高齢者や障がい者、特に車いすの方には地域の支援が必要です。要配慮者に対して、まずは安否確認をし、何に困っているか把握し、必要な支援を届ける必要があると考えます。台風15号の時は、浸水した自宅にずっと寝泊りを続けていたり、給水拠点から水を運ぶのが難しい高齢者がいた等の事例もあったようです。

Q 災害時における高齢者等の要配慮者の状況把握にどのように取り組んでいますか。



A 本市では、要配慮者の状況を迅速に把握するため、高齢、障がい等の理由で避難に支援が必要な方の名簿を作成し、本人の同意を得て、各地区の自主防災組織と民生委員・児童委員協議会に提供しています。

また、自主防災組織等は、この名簿と地域で保有する情報を活用し、発災時には、支援を必要とする方の状況を把握し、地区支部や地域包括支援センター等を通じて、市の各部各班に情報共有することとしています。

【意見・要望】

第2子保育料完全無償化については、認可か認可外かで線引きをせず、認可外保育施設を利用される方にも相当額の支援をするなど、全ての子育て世代へ同等の支援ができるよう、前向きな検討をお願いします。

津波避難施設については、津波の対策が見て分かる構造にしたり、津波避難場所として、避難所として、防災倉庫としてなど、防災面の役割をしっかりと説明すると、夜間に人がいなくなる津波避難ビルでも、登り口を分かりやすくし、震度に応じてキーボックスが開く設備の拡充などをお願いします。

災害時のトイレ対策については、避難所で衛生的なトイレが使用できるのと、災害派遣トイレネットワークに加盟すれば、相互に派遣し合えます。平時はイベントの仮設トイレにも活用できるので、まずは1台目から導入の検討をお願いします。

災害時の要配慮者への対応については、各地区ごとに支援が必要な方への安否確認や、必要な支援を確認できるシステム導入の検討をお願いします。高齢者でもスマホを利用している方は増えていきますので、システムを活用できない人に絞って、お宅へ足を運ぶようにすれば、状況確認作業も低減されると思います。

静岡市議会では、本会議の様子を生中継と録画中継でご覧いただけます。
今回の質問は、令和5年2月定例会→3月2日総括質問内にあります。是非、ご覧ください



令和5年度当初予算一般会計 3,517 億円（前年度比 +4.1%）

4次総「5大重点政策」の取組に予算を重点配分

子どもの育ちと長寿を支えるまちの推進

■ 第2子以降の保育料の完全無料化（*4頁参照）

きょうだいの年齢や世帯の所得に関係なく、2人目以降の子どもにかかる保育料を無償化。

■ 妊娠・出産・子育てにおける伴走型の支援

- ・未就学児の相談支援の強化
- ・出産子育て応援給付金



屋内遊び場イメージ

■ 屋内遊び場施設の整備に向けた

調査研究

令和8年度オープンを目指し、子育て家庭のニーズにあった屋内遊び場づくりを行う。

■ 誰もが活躍できる社会実現に向けた支援体制の調査

城下町の歴史文化を守り抜くまちの推進

■ 大河ドラマ館と歴史博物館による市内外誘客の促進

【大河ドラマ館】 静岡浅間神社内
令和6年1月28日まで



大河ドラマ館

■ 将棋・囲碁大会の開催

- ・将棋「名人戦」令和5年4月26日～28日
- ・囲碁「本因坊戦」令和5年5月の3日間

■ JR静岡駅南口駅前広場の再整備

港町の海洋文化を磨き上げるまちの推進

■ (仮称) 海洋・地球総合ミュージアムの整備

【供用開始】 令和8年4月予定

【総額】 169億6,000万円

(令和5～令和22年度)



■ 新興津地区への海づり公園の整備

令和5～6年度 工事

令和6年度末 暫定供用開始

令和7年度末 供用開始

■ 清水港への客船誘致と歓迎イベントによる賑わいの創出

【客船寄港数】 77隻（予定）



■ 脱炭素先行地域における再エネ設備導入の促進

オクシズの森林文化を育てるまちの推進

■ 暮らし続けることができるオクシズの構築支援

自治会や民間事業者と連携した移動販売による買い物支援や、雇用創出や人材派遣を行う事業協同組合の設立準備



■ 地域活性化に向けた移住促進

■ オクシズの生活利便性向上のための道路整備

アートとスポーツがあふれるまちの推進

■ 春夏秋冬ごとにフェスティバルが楽しめるまちの推進

■ プロスポーツチームと連携したまち・ひとづくりの推進

プロ卓球チームと連携した地方創生事業

- ・卓球教室の開催
- ・ホームゲームへの招待

■ サッカースタジアムの候補地の調査・検討



観光文化経済委員会

観光交流文化局と経済局の令和4年度の2月補正予算と、令和5年度の当初予算について審議を行いました。

【観光交流文化局】

歴史博物館や大河ドラマ館の展示入替に応じた周知拡大、駿府城跡天守台野外展示の魅力向上とVR等の活用、乗り場を北御門に移した葵舟の周知と東御門での個人乗船の実施などについて要望しました。

【経済局】

海洋文化施設の集客増加に向けた取組強化、静岡ホビースクエアの魅力向上と周知拡大、小中学生から高齢者までプラモデルに触れる機会の更なる創出などについて要望しました。



活動報告

観光文化経済委員会視察

【伊丹市】

伊丹市では、伊丹市にゆかりのある著名人 18 人に「伊丹大使」を依頼していますが、担当職員が普段から情報収集や関係者へのコンタクトなど地道な活動をしていました。市役所内にゆかりのある著名人の展示ブースを設けることで、市民の認知度を上げ、市の広報力アップにもつなげ、静岡市でも参考にしていきたいと思えます。



「伊丹大使」展示ブース

【神戸市】

神戸市では、地域クーポンをお買物券と電子商品券とで実施しており、多くの手法で消費喚起を実施していました。特に地場産業の支援として、神戸ブランド・エールクーポンを有効に活用していました。また、劇場型アクアリウム「アトア」は、舞台美術やデジタルアートを融合させておりすばらしいと感じました。

【福山市】

福山市では、福山城築城 400 年記念基金で目標金額 10 億円を達成させ、福山城の改築を実施していました。また、福山城「光の祭り」では、石垣をキャンパスに雄大なプロジェクションマッピングを実施しており、駿府城でも活用していきたいと思えます。



4 月から第 2 子の保育料が完全無償化されます



静岡市は、今年 4 月から年収やきょうだいの年齢に関係なく、第 2 子の保育料を完全無償化します。第 2 子の保育料完全無償化は政令指定都市で初となります。

また、静岡市では「しずおかハグくむ子育てプロジェクト（しずハグ）」と銘打ち、無償化以外にも子育て政策を強化していきます。

しずおかハグくむ子育てプロジェクト（しずハグ）

- 伴走型相談支援
 - ・保健師の自宅訪問を、計 4 回に増やす
 - ・子どもが 3 歳になるまで LINE による定期的な情報発信
- 屋内遊び場づくり
 - 令和 8 年度のオープンを目指し、屋内遊び場づくりを令和 5 年度からスタート
- ヤングケアラー支援
 - ・コーディネーターの配置 ・関係機関職員への研修
- インクルーシブ教育・保育の推進



遊び場のイメージ

【静岡市の保育料（令和 5 年 4 月～）】

| きょうだいが全て未就学児の世帯 | きょうだいに就学児（小学生以上）がいる世帯 | |
|------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| | 年収 360 万円未満相当 | 年収 360 万円以上相当 |
| 所得関係なし | | |
| 第 1 子 未就学児 全額負担 | 第 1 子 就学児 (保育料なし) | 就学児 (保育料なし) |
| 第 2 子 未就学児 半額負担 → 無料 | 第 2 子 未就学児 半額負担 → 無料 | 1 人目 未就学児 全額負担 → 無料 |
| 第 3 子 未就学児 無料 | 第 3 子 未就学児 無料 | 2 人目 未就学児 半額負担 → 無料 |
| 第 4 子～ 未就学児 無料 | 第 4 子～ 未就学児 無料 | 3 人目～ 未就学児 無料 |



議会だよりを送付させていただいた方の住所など変更がありましたら、お手数おかけしますが下記まで変更内容をご連絡ください。（今後送付不要の方も住所と氏名を下記までご連絡ください。）

携帯電話：090-3484-8199（ショートメールでも可）メールアドレス：kojimayoshihiko@outlook.jp